

## ダイナミックなウェブページを作るためのTIPS集

### 『Web スクリプト Tips & Tricks』

本書はマイクロソフト公式解説書シリーズのウェブスクリプトの解説本だ。サーバー側で動作するスクリプトであるASPやPerlについても若干触れてはいるが、ほとんどはJavaスクリプトで書かれたスクリプトの解説だ。タイトルに Tips & Tricks とあるように、ウェブページにダイナミックな機能を持たせるスクリプトのテクニック集となっているため、文法的なことにはページを割いていない。別途、Javaスクリプトの文法書などを用意するとよいだろう。ASPや

Perlなどは、すでに知っているものとしてさらりと流しているため、これらの入門書や文法書に目を通した中級者向けと思ってよい。

動作環境となるWWWブラウザは、ネットスケープナビゲーターとインターネットエクスプローラで、本書では競合製品のナビゲーターで動作するスクリプトも取り上げている。とは言うものの両方のWWWブラウザに中立に書かれていないわけではない。また、Perlの動作が確認された環境がウィンド

ウズだけなので、UNIXをサーバーにする多くの場合には動作が確認されていない点が残念だ。IISベースのサーバーで、インターネットエクスプローラをクライアントにしているならば最適な解説本だろう。



Jim Buyens 著 / 株式会社創知社ハイテクライツ 日経BPソフトプレス発行 462ページ+ CD-ROM 本体 4,800円+税 ISBN4-89100-058-9

# 魅力的なウェブを作ろう

菊地宏明 Hiroaki Kikuchi

## 魅力的なウェブページを作るための解説書

### 『新・作ろう！ 魅せるホームページ 実践テクニックガイド』



山田貞幸 著 株式会社インプレス 発行 254ページ+ CD-ROM 本体 2,980円+税 ISBN4-8443-1234-0

ホームページの作成レベルは自動車に似ていると思った。ホームページ作成ソフトで、HTMLを知らなくても見たままのイメージでホームページを作れる状況がオートマチック車だとしたら、テキストエディターでHTMLを駆使してテクニックと感性でホームページを書き上げていく状況がマニュアル車だといえ

る。ホームページを作るだけならホームページ作成ソフトで簡単に作れるのだが、それでは簡単すぎる感じがして、やっぱりテキストエディターで書いてみようかなあと思ったりする。結局、HTMLを覚えなくては始まらないという最初のハードルにぶち当たるわけだ。

HTMLもWWWブラウザとともに進化しているから、書棚の肥やしになっているような古い本を参考にしても始まらない。難しさに差はないのだから最新の文法やテクニックを最初から身に付けたい。本書ではHTML4.0およびCSS1をサポートした文法と、ウィンドウズ用の便利なツールの利用テクニックが解説されている。Javaスクリプトの解説ではサンプルリストを、ツールを使った画像処理の解説では図版を多く掲載して、効果が一目で分かるようになっている。付属のCD-ROMには本書で使ったソフトと素材、サンプルページが収録されている。

## WWWで“ヘマ”をしないための解説書

### 『Webセキュリティガイド』

「インターネット=WWW」という図式が暗黙のうちに浸透している。誰もがインターネットを始めたいというWWWを指しているようだが、これほど普及しているながら、WWWのセキュリティに関してはほとんど関心を持たれていない。もしかしら、とつても危険な状況かもしれないのだ。

本書ではWWW全般のセキュリティを解説している。序文にもあるが、平たく言えばWWWでヘマをしないための方法を解説しているのだ。WWWサーバーでのセキュリティ対策だけでなく、WWWブラウザを利用している

きの危険の回避方法も紹介されている。WWWにはセキュリティ上の問題がこれほどあったのかということに認識させられる。過去のアタック例なども紹介されているので、危険が身近なところにあることがよく分かる。WWWサーバーの管理者にとって面倒なセキュリティのチェック項目も、解説を読みながら対策を考えるとよいだろう。

WWWブラウザを利用しているユーザーにもおすすめできる読みやすいセキュリティに関する解説本だ。



Lincoln D. Stein 著 / 株式会社クイック 株式会社アスキー発行 541ページ 本体 5,800円+税 ISBN4-7561-2043-1

## オンラインで本を買うためのハウツー本

### 『徹底活用 「オンライン書店」の誘惑』

暇になると本屋に行く。以前、家の近所にあったお気に入りの本屋が移転してしまったので、お目当ての本を別の本屋に探しに行ったことがある。すると、その本屋の店員に「うちではその本は扱っていません」とそっけなく言われた。あとで知ったのだが、売れ残ったら出版社に返せる本と、本屋が買い取らなければならない本があって、その本屋は売れ筋の本や返本できる本ばかりを扱っていたのだ。

インターネットにある本屋を使えばこんなことはない。「書名」や「著者」といったキーワードを使って探している本を検索

すればお目当ての本が見つかる。もし見つからなくても電子メールを送れば何らかの返事がもらえるだろう。買うに値する本が否かを立ち読みして判断することはできないが、書評は読めるし、本を注文すれば家まで郵送してくれる。パソコンをお気に入りの本屋のレジに直結した感覚だ。

本書では海外や国内の新刊、古本を扱っているインターネットの本屋を紹介している。Amazon.comをはじめとする大きな総合書店は詳しく利用の手引きが書かれている。これからは本の探し物は近くの本屋よりオンラインの本屋という時代になるのだろうか。



津野海太郎 編  
晶文社 発行  
205ページ  
本体 1,800円 + 税  
ISBN4-7949-6380-7



NTT 監修  
NTT 出版株式会社 発行  
191ページ  
本体 1,600円 + 税  
ISBN4-7571-0012-4

## 世界に挑戦するNTTの事例集

### 『トータルソリューション への挑戦』

日本で一番大きな会社ってどこだ？ なぞなぞのような質問に答えられるデータは持っていないが、たしかNTTだと聞いたことがある。NTTのホームページを見てみると従業員数がNTTだけで14万5000人、NTTグループ全体ではなんと23万8000人とある。ニューカレドニアの人口18万4000人を上回る。小国の人口よりも多いことになるのだ。さらに、日本の労働人口の0.4パーセントはNTTグループの人ということになる。

NTTはご存じのように1985年に分割民営化されているが、グループがまとまるといまだに競合他社が

東になってもかなわない。この状況は本書を見てもらえば分かるだろう。コンサルテーションから設計、施工、運用、管理、情報網のインフラ構築、アプリケーション開発まで、通信にかかわるあらゆるサービスをNTTグループで構築している。

本書は企業の抱える問題をNTTグループで解決した事例集だ。取り上げられている15の事例は、多種多様なトータルソリューションにあふれている。これを巨大なグループでフォローし合えるのだから、憎々しいほどに強力なソリューションだ。そんな国内無敗のNTTの「挑戦」というのは、もちろん世界市場に打って出る意気込みなのだ。

## モバイルの技を集めた文庫サイズの解説書

### 『モバイルズバイブル』

文庫版のインターネット関連書籍は初心者向けが多いと思う。これは個人的に定説化しているのだが、本書もこの説に収まり、手軽に誰もが読める内容になっている。

毎日テレビコマーシャルでPDAやノートパソコンを使ってモバイルコンピューティングをしている映像が流されていると、今まで電子手帳を使っていた人もモバイルの世界に飛び込んでくる。本書はそんな人におすすめの内容だ。

特定の機種に依存せず、これからモバイルしてみようと思っている人向けの内容なので、すでにどっぷりモバイルしている人やインターネットをバリバリに利用している人には物足りない。ノートパソコンを持った人の誰もが、買ってから数か月以内に身につけるテクニックが多く書かれている。たとえば、ハードディスクのアクセスを減らしてバッテリーを長持ちさせる技などを載せればもっと幅広いユーザー向けの本になっただろう。

また、携帯に便利な文庫本だからこそ「ThinkPadバイブル」とか「VAIOバイブル」といったそれぞれの機種のユーザーが本体とともに持ち歩ける虎の巻のような内容でもよかったです。期待したい。



モバイルライフ研究会 著  
株式会社小学館 発行  
254ページ  
本体 457円 + 税  
ISBN4-09-416441-3



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)